

オオキンケイギクの駆除について

環境エネルギー課



オオキンケイギクとは

オオキンケイギクはキク科の植物で、原産地が北アメリカです。

非常に強健な性質であることや、5月から7月にかけて黄色く鮮やかな花をつけることから、かつては道路の法面などに植栽されていました。

しかし、あまりにも繁殖力が強く、一度定着すると在来の野草を駆逐し、周りの景観を一変させてしまうため、平成18年2月に外来生物法による『特定外来生物』に指定され、栽培、運搬、販売、野外に放つなどの行為が禁止されています。

オオキンケイギクの駆除の仕方

オオキンケイギクを見つけた場合、生えている土地の所有者・管理者に駆除してもらおうようお願いしてください。

オオキンケイギクは、生きたまま移動させたり、保管したりすることが外来生物法で禁じられていますので、根から引き抜き、あるいは草刈機などで刈り取り、ごみ袋に入れて、完全に枯れたのを確認してから可燃ゴミの日に出してください。ただし、結実後の駆除は種子を拡散させるおそれがあるので、なるべく結実前に駆除してください。

人体に悪影響を与えるような毒性はありませんが、駆除する際には手袋を装着するなどしてケガをしないようご注意ください。